

開催日時：令和6年(2024年)7月6日(土) 13:00~16:30 オンライン開催

【話 題】

1. 理事会からの報告事項

A. 総務部

1) 失語症者向け意思疎通支援事業について

- ・養成研修修了者の集い：7月20日(土) 10時 オンライン開催
- ・失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修
10月26日(土)~27日(日) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

2) 会員マイページ 施設登録について士会会員への働きかけのお願い

- ・全6,502施設中1,394施設(21.4%)が施設種類等の詳細登録がない状態(6/14現在)

マイページより「勤務先の部署登録」「対象領域の登録」の確認をお願いします！

B. 広報部

1) お知らせ

- ・中高生向け広報について

① 中高生向けのST広報用ポスターならびにリーフレットを作成予定。

② 13歳のハローワーク公式サイト 職業ランキング3位(2024年6月20日時点)

2) 各種広報関連情報の共有について

- ・めざせ！ST(言語聴覚士)

▶「なるほどST BOOK」リニューアル：中学生・高校生向けにマンガを作成。

▶ST適性診断や言語聴覚士インタビュー等を掲載しています。

3) パネル・ポスター等の活用について

協会ホームページからダウンロードが可能

STを目指す若者の確保をみんなで頑張りましょう！

C. 災害対策部

1) 令和6年1月1日の能登半島地震の発災直後からJRATへの支援協力

- ・JIMTEF災害医療研修修了者を対象として支援協力をお願いし、多くの会員から協力を得た。

2) 協会企画

第25回日本言語聴覚学会 in 兵庫・神戸において士会災害担当者同士の情報交換会を開催。

アンケート結果(一部抜粋)

- ① 参加都道府県：21都道府県
- ② 経験年数 21年以上42.1%、11年~20年34.2%、6年~10年5.3%、1年~5年18.4%
- ③ 災害リハビリ研修を受けたことがない方 52.5%
- ④ 災害支援の協力 ある 53.7% なし 46.3%

⑤ 災害支援の派遣協力について：協力したい方 82.9%

まだ分からない方 17.1%

「支援をしたい」という方が多数！

D. 医療保険部

1) 「令和6年度診療報酬改定の実態調査」への協力依頼

- ・実施期間：2024年8月頃を予定

2) 医療保険部・介護保険部「令和6年度実務者講習会：成人基礎編、成人応用編」の広報

【成人基礎編】

- ・申込期間：2024年6月12日(水)13時~7月16日(火)13時
- ・開催日時：2024年8月17日(土)10:00~17:00~8月18日(日)9:00~15:00

- ・開催方法：オンライン講習会（Zoom）
- ・対象：成人領域若手 ST（目安：1～5 年目，「言語聴覚士のキャリアアップ」ステージ I・II）

【成人応用編】

- ・申込期間：2024 年 10 月 16 日(水)13 時～11 月 12 日(火)13 時
- ・開催日時：2024 年 12 月 14 日(土)9:00～17:00
- ・開催方法：オンライン講習会（Zoom）
- ・対象：成人領域に勤務する中堅 ST（目安：6 年目～，「言語聴覚士のキャリアアップ」ステージIII）

E. 介護保険部

1) 難聴高齢者支援研修会の開催について

開催日時：令和 6 年 9 月 29 日（日）9：00～12：20（予定） オンライン（ウェビナー）
 定員：会員 300 人 ※地域リハビリテーション活動支援に資する人材育成研修修了者優先
 参加費：無料
 申し込み方法：協会 HP 会員マイページ内研修会申込ページ
 申し込み期間：8 月 14 日(水)13 時～9 月 17 日(火)13 時
 プログラム：講演「地域における難聴高齢者支援の意義」
 「通いの場における難聴高齢者支援－保健師の立場から」
 「地域包括支援センターでの言語聴覚士の取組と難聴高齢者支援の実際」

F. 学校教育部

1) 学校教育に関する都道府県士会活動報告（47 都道府県連携）

今年度、都道府県における学校教育に関わる言語聴覚士の先進事例の収集を行う予定。
 学校教育事業に先進的に取り組んでいる士会へ、活動報告として作成を依頼する。
 概要について 7 月以降に配信。

G. 生涯学習部

1) 報告事項

令和 6 年度（2024 年度）生涯学習部研修会
 全国研修会

- 全 6 回 12 講座、リアルタイムオンライン（Zoom ウェビナー）
- 全講座オンデマンドでの配信予定：https://www.japanslht.or.jp/article/article_2181.html

6.9（日）	医療職のキャリアマップの作り方 -言語聴覚士のキャリア形成に向けて	保田江美先生 （国立保健医療科学院）
	吃音に対する効果的な介入プログラム	原由紀先生（北里大学）
7.21（日）	回復期における言語聴覚療法 -臨床推論の実際	森田秋子先生(鶴飼病院)
	臨床実習指導者の育成について	内山千鶴子先生 （新潟リハビリテーション大学大学院）
9.8（日）	言語聴覚療法に使える統計の初歩	対馬栄輝先生（弘前大学大学院）
	日本語の文法障害のみかた -成人と小児から	藤田郁代先生 （国際医療福祉大学大学院）
10.6（日）	失語症の人の長期経過 -社会参加、対話交流について-	中川良尚先生（江戸川病院）
	精神疾患への理解と対応	村井俊哉先生（京都大学）
11.10（日）	半側空間無視のリハビリテーション	水野勝広先生（東海大学）

	耳鼻咽喉科外来における「ことばの問題」-小児の言語聴覚障害への対応 早期診断から療育へ-	阪本浩一先生（大阪公立大学）
12.15（日）	認知機能障害をもつ患者のディサース リア、摂食嚥下障害への対応	福永真哉先生（川崎医療福祉大学）
	保健医療政策と言語聴覚士	深浦順一先生 （国際医療福祉大学大学院）

認定言語聴覚士講習会：6領域開催

領域	
言語発達障害領域	第1回オンライン：7月6日～7日（土・日） 第2回オンライン：7月20日～21日（土・日） 第3回オンライン：8月3日（土） 対面：8月18日（日）国際医療福祉大学成田キャンパス
聴覚障害領域	第1回オンライン：7月6日～7日（土・日） 第2回オンライン：8月3～4日（土・日） 第3回対面：9月7～8日（土・日）北里大学医療衛生学部
吃音・小児構音障害領域	第1回オンライン：7月14～15日（日・月祝） 第2回オンライン：9月15～16日（日・月祝） 第3回対面：9月22～23日（日・月祝）北里大学白金キャンパス
失語・高次脳機能障害領域	第1回オンライン：7月27～28日（土・日） 第2回オンライン：8月17～18日（土・日） 第3回オンライン：9月14日（土） 対面：9月28日（土）帝京平成大学池袋キャンパス
成人発声発語障害領域	第1回オンライン：9月14～15日（土・日） 第2回オンライン：12月14～15日（土・日） 第3回対面：2025年3月1～2日（土・日）杏林大学井の頭キャンパス
摂食嚥下障害領域	第1回オンライン：8月3～4日（土・日） 第2回オンライン：9月21～22日（土・日） 第3回対面：10月26日～27日（土・日）大阪保健医療大学2号館

2) 令和5年度（2023年度）生涯学習システム修了者の累計

基礎・専門修了者：いずれも福岡は全国2位

都道府県別認定言語聴覚士取得者数：**福岡は全国3位**

3) 生涯学習システムの改訂に関する検討状況

- (1) 現行システムとの移行検討
- (2) 取得単位管理システムの構築
- (3) 講座検討 等

九州は基礎講座・専門講座の修了者が多いが認定ST取得が少ない。
西側で認定ST講習会の開催してほしいと要望しました。

H. 職能部門

- ・診療報酬改定のポイントについて説明がなされた。
- ・**処遇改善に結びついていない施設も見受けられる。今後実態調査を行う。**

2. 連携体制構築について

1) これまでの経過報告

昨年1月：士会・協会間の連携体制構築検討会（士会長8名、協会役員4名）を立ち上げ。

月一回の頻度で会議を開催。

11月：「都道府県言語聴覚士会と日本言語聴覚士協会の役割および連携体制構築の必要性について」を報告書として取りまとめ。

12月：士会・協会間の連携体制構築推進会議(士会長12名、協会役員4名)を新たに発足

本年1月：5月までに5回の会議を開催。

士会員および協会員向けの入会促進用広報資料(案)

士会役員向けの説明資料(案)

会員情報一元化に必要な諸要件の整理

6月18日：第1回士会・協会間の連携体制構築担当者会議(以下、担当者会議)を開催

2) 今後の進め方

(1) 会員情報の一元化に関わる確認事項の検討

会員情報の一元化を図り、事務手続きの効率化を目指すために、以下について検討、合意形成を図る。

- ・新入会の受付窓口を全国協会に担うこと
- ・会員の入会・退会に関わる規程等を改定すること
- ・士会が参照できる会員登録情報の項目を選定すること
- ・所属士会変更時の入会金・年会費の徴取に関すること

(2) 士会と協会への入会を促す取組の強化

- ・動画を用いて協会員向けに士会入会を促す取組を開始。
- ・士会役員向け広報資料および会員向け広報資料を活用し、士会員の協会への入会を促す。

いよいよ ST 協会と県士会の一元化に向け、具体的な課題の抽出と解決を進めていきます。まずは周りの非会員の方へ両会入会を促してください。

3. 臨床実習指導者講習会について

- ・今後、臨床実習指導者となるためには、講習会の受講が必須となります。
- ・2025年度から臨床実習指導者講習会が開催されます。
- ・大卒2年課程、専門学校3年課程では、2026年度の臨床実習(評価実習)から対象
- ・大学4年課程では2027年度の臨床実習(評価実習)から対象となる。
- ・2025年から指導者講習会を開催できるよう各養成校と県士会が協力して準備を進めていく。

4. 学会

- 1) 第25回日本言語聴覚学会 報告(兵庫県言語聴覚士会)
参加者総数：3111名 演題：426
- 2) 第26回日本言語聴覚学会 挨拶(山形県言語聴覚士会)
2025年6月27日(金)、28日(土)

養成校の実習によっていつまでに講習会を受講すべきか異なります。ご確認ください。

5. その他

次回都道府県士会会長会議：11月16日(土)13~16時 ハイブリッド開催予定(東京)